



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2015年8月号（527号）》

目 次

報 告

・定例司教総会	1
・常任司教委員会	3
・教会行政法制委員会	4
・新福音化委員会	5
・難民移住移動者委員会	5
・カリタスジャパン	8
・外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会.....	11
・中央協議会事務局（総務）	12

定例司教総会

■2015年度定例司教総会

日 時	2015年6月15日（月）14:00—6月18日（木）17:00	
場 所	日本カトリック会館 マレラホール	
出席者	会 員	14人
	招請者	2人
	来 賓	1人
	オブザーバー	4人
	総会事務局	6人

報 告

1. 日本の教会による東日本大震災復興支援活動の今後の展望について

仙台教区サポート会議における意見交換を通じて、今後の復興支援の方向性について仙台教区と共通理解をもっている内容に関して、東日本大震災復興支援担当の菊地 功司教から報告が行われた。今後は、カリタスジャパンによる資金提供の可能性を考慮しながら、大震災発生 10 年となる 2021 年 3 月まで、仙台教区における復興支援活動を継続し、地元根付く活動へとつなげていく道を模索する。

2. 学校教育委員会と学校連合会について

カトリック学校の現実を各教区の司教方がより具体的に知り、双方のより緊密な協力関係を保つことができるよう、学校教育委員会委員長の高見三明大司教と学校連合会の品田典子事務局長から、それぞれの設立経緯と任務、および両者の関係について報告が行われた。

3. 2015 年日韓司教交流会について

本年 11 月 10 日－12 日に横浜教区を会場として開催する第 21 回日韓司教交流会の準備のための会合報告が、担当司教である松浦悟郎司教から行われた。

今年度の交流会のテーマ「戦後 70 年のあいだカトリック教会は社会の中でどのように福音を生きてきたか？」に沿って、教皇フランシスコ使徒的勧告『福音の喜び』をもとに、カトリック教会の戦後 70 年を評価して反省する内容とし、日本側講師を小田武彦師に依頼する。

4. アジア司教協議会連盟・人間開発局会議参加について

2015 年 4 月 7 日－11 日にタイのバンコクで開催された、アジア司教協議会連盟・人間開発局 (FABC-OHD) 主催の「アジアにおける和解と平和に関する会議」に参加した勝谷太治司教より、会議報告と共に、同会議で紹介した「戦後 70 年司教団メッセージ」に対する各国の反響が紹介された。

5. 長崎大司教区 教区代表者会議 (シノドス) について

2015 年 3 月 17 日に「日本の信徒発見」150 周年を迎えるにあたり、長崎大司教区で初めて開催した教区代表者会議 (シノドス) の目的と開催経緯について、高見三明大司教から報告が行われた。

6. 日本カトリック司教協議会・公認団体「青年連絡協議会」の活動について

日本カトリック司教協議会の公認団体である「青年連絡協議会」の活動状況について、同協議会の顧問司教である梅村昌弘司教から報告が行われた。主な活動であるネットワークミーティングや運営委員会の内容が紹介され、青年連絡協議会の理解を深め、日本全国 16 教区すべてが賛同教区となって青年たちの自主性を尊重した運営を支援してほしいとの願いが述べられた。

7. 広島教区の列福・列聖運動について

1867 年の浦上四番崩れにより、浦上一帯の全信徒が捕縛され、名古屋以西 20 藩 22 か所に流罪となった。1873 年、禁教令の廃止に伴い、信徒たちは帰郷が許されたが、津和野に配流された 153 人のうち 37 人が、1868 年から 1873 年の間に、信仰への過酷な迫害のためにいのちを落とした。この 37 人を殉教者として列聖を望む声に応え、広島教区では関係教区と協力しながら、信徒発見を発端とする迫害と、それによって津和野でいのちを落とした上記 37 人の列聖調査を開始する方針を固めた。これにより、教区創立 100 周年に当たる 2023 年に、37 人の列福を実現させたいと願っていることが報告された。

審 議

1. 『いのちへのまなざし』改訂について

日本カトリック司教協議会が 2001 年 2 月に発行した司教団メッセージ『いのちへのまなざし』の書籍が在庫僅少となったことを受け、同書を改訂することを承認し、改訂特別委員会 (仮称) を立ち上げるための準備として、改訂方針、改訂内容、作業チームのメンバー、費用などについて常任司教委員会で検討することが確定した。

2. 野村純一司教引退に伴う委員長・責任司教選出について

野村純一司教引退に伴い、後任の財務委員会委員長に梅村昌弘司教を、エキュメニズム部門責任司教に岡田武夫大司教を選出した。

3. 2014年度(宗)カトリック中央協議会収支決算書案承認について

2014年度(宗)カトリック中央協議会収支決算書案を、2014年度(宗)カトリック中央協議会収支決算書として承認した。

その他、定例司教総会中に以下の事項が行われた。

・意見交換

2015年アド・リミナの評価に関する件

・司教の集い

新しい『ローマ・ミサ典礼書の総則』に基づく変更を本年11月29日から実施するにあたり、学ぶべきこと

・司教勉強会

日本のカトリック教会と脱原発

常任司教委員会

■6月定例常任司教委員会

日 時 2015年6月4日(木) 10:00-14:30

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 委 員 7人

事務局 6人

報 告

1. 東日本大震災に関するカリタスジャパンの対応について

東日本大震災にあたっての、現在までの募金状況と支援状況がカリタスジャパン・菊地 功司教から報告された。5月31日現在のカリタスジャパンへの募金は、887百万円、国際カリタスからの募金が1123百万円で計2,010百万円、援助金支出は、1,691百万円となった。

2. 中央協議会口座の東日本大震災復興義援金残高について

5月31日現在の中央協議会口座の東日本大震災関連・義援金残高報告が行われた。義援金総額は73,541,948円、支出合計は、54,549,797円、残高は18,992,151円となった。

審 議

1. 2015年度定例司教総会内容確定について

本年6月15日-19日に開催予定の定例司教総会で取り扱う事項について、内容確定を行った。(詳細は、「定例司教総会報告」参照)

2. 第21回日韓司教交流会の講師について

2015年11月10日-12日に「戦後70年の間カトリック教会は社会の中で福音をどのように生きてきたか-『福音の喜び』をもとにわたしたちの70年を評価して反省する」をテーマに横浜教区で開催する第21回日韓司教交流会の講師を小田武彦師に依頼する。

3. 2016年祈祷の使徒「日本の教会の意向」について

本常任司教委員会での諸意見を加味して修正した2016年祈祷の使徒「日本の教会の意向」を正式版として「祈祷の使徒」担当者に提出する。

4. 戦後 70 年にあたっての日本カトリック司教協議会の公式行事について
- ①戦後 70 年にあたり、日本カトリック司教協議会の公式行事として、8 月 5 日に日本全国から広島に集まる日本聖公会主教との合同プログラム「平和のための祈りの集い」（仮称）を共同で主催する。
 - ②8 月 6 日午前 8 時からの広島教区主催「原爆・すべての戦争犠牲者追悼ミサ」には、日本カトリック司教協議会として、広島教区に連帯して参加する。
5. 中央協議会発行出版物の企画承認について
- ①出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと一部修正を加えた出版企画書を承認した。
 - 1) 書籍名 イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔－いつくしみの特別聖年公布の大勅書
内 容 教皇フランシスコによる、いつくしみの特別聖年公布の大勅書の翻訳
 - 2) 書籍名 新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく変更箇所－2015 年 11 月 29 日（待降節第 1 主日）からの実施に向けて
内 容 新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく変更箇所に関する冊子。2015 年 11 月 29 日からの実施に備えて全国の司祭・助祭、ならびに典礼担当者に配布する。
 - 3) 書籍名 ユスト高山右近～その生涯と霊性～（仮称）
内 容 ユスト高山右近の列福を控え、右近のメッセージについて理解を助けるための冊子
 - ②出版部から企画を提出していた『毎日の祈り』（仮称）誌については、アンケート結果をもとに検討した結果、創刊しないことが報告された。今後は、よりよい形で関連書籍の出版などにより「教会の祈り」の普及に努める。なお、同誌の創刊を行わないことについては、カトリック中央協議会のウェブサイトにて公表する。
6. 2014 年度（宗）カトリック中央協議会収支決算書案承認について
- 財務委員会から提出された 2014 年度カトリック中央協議会収支決算書案を、2015 年度定例司教総会へ常任司教委員会から提出する正式な同収支決算書案とすることを承認した。

教会行政法制委員会

■2015 年度第 1 回会議

日 時 2015 年 6 月 3 日（水）13：00－16：00
場 所 日本カトリック会館 会議室 5
出席者 4 人
欠席者 1 人

審 議

「カトリック新教会法典」日本語訳の見直しについて

「カトリック新教会法典」日本語訳の見直しのためのアンケートの集計結果を基に、今後の作業方法について検討した。アンケート結果に対する当委員会の評価と今後の作業方法の可能性について、7 月の常任司教委員会に諮る。

次回日程 第 2 回会議 2015 年 7 月 9 日（木） 12：00－16：00 カトリック福岡司教館

新福音化委員会

■2015 年度第 1 回会議

日 時 2015 年 6 月 16 日（火）17：30－18：30
場 所 日本カトリック会館 会議室 6
出席者 4 人

審 議

「信仰年」フォローアップのための取り組みについて

「信仰年」を終えて各教区に依頼したアンケートでは、「自分の言葉で信仰を伝えられるようになりたい」との意見が多く挙げられた。これを受け、前回に引き続き、当委員会のホームページを新設し、信徒自身の声（信仰体験）を募集して掲載する件について検討した。カトリック新聞「声」掲載における留意点やインターネットへ掲載することによって想定される諸問題への対応を踏まえ、より具体的な募集要項を作成し、9 月常任司教委員会に諮る。

難民移住移動者委員会

■2015 年度東京教会管区セミナー

日 時 2015 年 5 月 10 日（日）13：00－17：00
場 所 カトリック秋田教会（新潟教区）
出席者 約 65 人

7 月に施行される改定入管法の注意点と問題点についての説明と、施行前に当委員会が行ったアンケート調査結果についての解説をした。

その後、外国人参加者の体験発表で、日本人とのかかわりなどを分かち合った。

■2015 年度第 1 回 AOS（船員司牧）コア会議

日 時 2015 年 5 月 11 日（月）13：30－16：00
場 所 日本カトリック会館 会議室 4
出席者 6 人

報 告

「AOS 船員司牧全国会議 in 横浜」（2015 年 9 月 30 日－10 月 1 日）の進捗状況について

横浜教区より報告。場所はカトリック末吉町教会を主会場にする。プログラム内容、現地研修会については横浜 AOS 船員センターが素案を作成する。

審 議

1. 2015 年度「船員の日」（7 月 12 日）について
配布物は昨年の通りポスター、委員長メッセージ、AOS ニュースとし、6 月中に全国に発送する。
2. AOS の今年度の活動について
中国地区以西の活動を活発化したい。司祭、活動団体などに働きかけを行う。

■2015 年度第 2 回事務局会議

日 時 2015 年 5 月 21 日 (木) 10:30-12:00
場 所 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院 (東京・千代田区)
出席者 7 人

報 告

1. 改定入管法サバイバル・リーフレットの発送作業
各国語版の印刷が終わり、外国語ミサ実施教会、共同体、修道会、関連団体に発送する。
当委員会ウェブサイトには掲載済み。
2. AOS(船員司牧)コア会議
「船員の日」についての準備状況
3. 2015 年度「全国研修会 in 佐世保」(長崎教区)準備状況
次回準備会を、6 月 10 日(水)の午後 2 時に大名町教会(福岡教区)とする予定。
4. 2014 年度決算報告

審 議

1. 「世界難民移住移動者の日」(9 月 27 日)について
委員長メッセージ、ポスター、パンフレットを各教区、小教区に配布する。
ポスターデザインは事務局でデザイナーを選定し、8 月に配布の予定で作業を進める。
2. 難民移住移動者ネットワークミーティング開催について(5 月 21 日-22 日)
1 日目の参加地区、団体の活動報告は課題、提案に重点をおく。「アドボカシー・啓発プロジェクト」のプレゼンテーション。2 日目は改定入管法のプレゼンテーション、言語別分ち合いを行い、その中から課題、提案、今後のネットワークを具体化する。
3. 在日大韓基督教会提案の第 3 回「マイノリティ問題と宣教」国際会議共催について
当委員会名で共催。在日大韓基督教会の事務局会議へは鈴木を派遣する。
以上を定例委員会に提案する。
4. 「アドボカシー・啓発プロジェクト」について
 - ①「入管法 3 年後の見直し」を求めるネット署名(実務 NGO 移住労働者と連帯する全国ネットワーク(移住連)入管法対策会議)の企画書の報告を受け、当委員会が共催することを承認。
 - ②「真つ当な移民政策を求める院内集会」(主催移住連・6 月 4 日参議院議員会館 101 会議室)の共催を承認。
 - ③移住連の NPO 法人化について
以上を定例委員会に提案。

■2015 年度第 1 回定例委員会

日 時 2015 年 5 月 21 日 (木) 13:00-15:00
場 所 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院 (東京・千代田区)
出席者 11 人

報 告

1. 2014 年度活動について
2. 各部門から
AOS(船員司牧)コア会議より、「船員の日」についての準備状況
3. 東京教会管区セミナー報告(フベルト師)
4. 2015 年度「全国研修会 in 佐世保」(長崎教区)進捗状況

審 議

1. 2014 年度決算報告と承認
2. 改定入管法サバイバル・リーフレットの配布報告と今後について
3. 難民移住移動者ネットワークミーティングの今後の見通し、方向性などについて
次回ネットワークミーティングを全国研修会のプログラムに組み入れることについて検討する。
4. 第 3 回「マイノリティ問題と宣教」国際会議共催について
事務局会議の提案を承認。
5. 移住労働者と連帯する全国フォーラム関門 2015 (6 月 13 日－14 日、九州朝鮮中高級学校・北九州市)
第 3 分科会「完全施行を迎えた改定入管法に対するこれからの取り組み」の当委員会プレゼンテーションを高木健次委員が行う。
6. 「アドボカシー・啓発プロジェクト」について
事務局会議の審議を受け、以下を承認した。
 - ①「入管法 3 年後の見直し」を求めるネット署名の企画書の報告を受け、当委員会が共催する。
 - ②「真っ当な移民政策を求める院内集会」の共催。
 - ③移住連の NPO 法人化について

■第 1 回難民移住移動者 (J-CaRM) ネットワークミーティング

日 時 2015 年 5 月 21 日 (木) 15:30－22 日 (金) 13:00

場 所 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院 (東京・千代田区)
日本カトリック会館 マレラホール

出席者 10 人

カトリック東京国際センター (CTIC)、横浜教区難民移住移動者委員会 (ENCOM)、さいたま教区オープンハウス、大阪教区シナピス、札幌教区、京都教区、広島教区などから計 32 人

難民移住移動者の人権問題にかかわるカトリックのセンター、団体、個人として活動する人々のネットワーク作りを目的として、各地の現状や問題、課題を共有し、今後の取り組みについて意見交換の場として、第 1 回の会議を開催した。

1 日目

- ①参加各団体、個人の現状報告と問題、課題の発表
問題点として、人材、資金不足。小教区との連携・無関心、仮放免になった人の保証人、生活資金援助などの問題が浮かび上がってきた。ネットワークで共有したいこととして支援者の養成、事例の共有、教会の協力体制などがあげられた。
- ②「アドボカシー・啓発プロジェクト」のプレゼンテーション
外国人の受け入れ状況、また、人権保障に関する法整備などについて、日本社会の中での外国人を取り巻く問題についての説明を行った。

2 日目

- ①改定入管法についてのプレゼンテーション
- ②言語別分かち合い
分かち合いで出された提案の確認、提案を受けての意見など
 - ・今年の全国担当者会議にワークショップを入れる。
 - ・準備に現場の実務者もかかわるようにする。日本人・外国人の両方、また組織づくり (Organizational Development) の専門家も入ってもらう。

- ・実務者ネットワークミーティングのワークショップは、地域別とするか。移住連のように分野別も可能性がある。
- ・援助金については明確な規定が必要。

決定事項

- ①実務者ワークショップは、来年の5月ごろを目指して準備チームを立ち上げ、企画していく。
- ②まずは今年の全国担当者会議(11月16日-17日)に合わせ、教区担当者の実務者が共有できる内容のワークショップを組む。

カリタスジャパン

■第1回援助部会会議

日 時 2015年5月29日 (金) 10:00-15:00

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 9人

報 告

1. 前回議事録を承認した。
2. 海外会議、海外視察について
 - (1)カリタスアジア緊急対応トレーニング (3月9日-10日、タイ・バンコク)
緊急事態での意思決定、コーディネーション、Emotional Intelligence (感情知性) についてのトレーニングに参加した。
 - (2)カリタスアジア総会・パートナーフォーラム (3月11日-12日、タイ・バンコク)
 - ・カリタスアジアの次期総裁、事務局長に現職が再選された。
 - ・サブリージョン(地区)として中央アジアが新設された。
 - ・カリタスアジア理事会メンバーが選出された。
 - ・2015年度の国際カリタスおよびカリタスアジア分担金が承認された。
 - (3)スリランカ視察 (4月21日-28日)
カリタススリランカからの申請案件についてのニーズ確認、キャンディ教区カリタスで実施中の「女性移住労働者支援」のモニタリングを行い、今後に向けての課題を洗い出した。
 - (4)国際カリタス総会・ミラノ万博カリタスデー (5月12日-19日)
 - ・国際カリタス新総裁にフィリピンのタグレ枢機卿が選出された。
 - ・今後4年間の戦略的枠組みが承認され、活動の方向性が確認された。
3. 東日本大震災対応について
4. 2014年度援助実績について
5. 事務局より
 - (1)第3回国連防災世界会議 (3月14日-18日、仙台)
15カ国から21人のカリタス関係者が来日、国際カリタスとして会議やサイドイベントに参加した。
 - (2)ネパール地震対応
5月29日現在、約55百万円の募金が集まっている。復興活動への支援に活用する。

審 議

1. 以下の海外視察、行事参加を承認した。
 - (1)アフリカ視察 (7月-8月日程未定)
 - (2)カリタスパキスタン50周年記念行事 (9月18日-25日)

2. 東日本大震災復興支援活動2015年度の予算を承認した。
3. 援助審査 以下14件（国内11、海外3）を審査し承認した。
 - (1) わたぼうし教室「外国人のための学習ソフト開発支援」2,562,500円
 - (2) 日本カトリック障害者連絡協議会「第12回カ障連全国大会（札幌大会）」500,000円
 - (3) カリタス広島災害サポートセンター「広島土砂災害復興支援（社会福祉法人やぎ）」9,442,000円
 - (4) カリタス広島災害サポートセンター「広島土砂災害復興支援（社会福祉法人あさみなみ）」4,241,148円
 - (5) こども支援チェルク「陸前高田市子育て支援活動」250,000円
 - (6) カトリック東京ボランティアセンター「福島県内外における被災避難者への支援システム構築5年次（2015年度）」32,360,992円
 - (7) 障がい者自立センターかまいし「東日本大震災被災障害者支援活動（2015年度）」4,200,000円
 - (8) カトリック札幌司教区「大槌ベースへのスタッフ派遣（2015年度）」2,505,390円
 - (9) 大阪教会管区「大船渡ベース2015年度活動費」7,059,169円
 - (10) 長崎教会管区「大槌ベース2015年度活動費」21,867,414円
 - (11) カリタス釜石「被災地復興支援事業（2015年度）」20,137,492円
 - (12) モンゴル「子どものデイケアセンター支援」29,807 USドル
 - (13) スリランカ「移住労働者支援（アドボカシーと能力強化）」15,009 USドル
 - (14) モンゴル「暴風雪被災者復興支援」10,000 USドル
4. 国際カリタス緊急支援要請(Emergency Appeal/EA) 以下5件の支援を決定した。
 - (1) モーリタニア「食糧危機に対するショック緩衝と人々のレジリエンス強化支援（EA06/15）」10,000ユーロ
 - (2) フィリピン「台風ハイエン復興支援2年目（EA07/15）」33,869,185円
 - (3) ナイジェリア「ポコ・ハラム暴動被災者緊急支援（EA09/15）」10,000ユーロ
 - (4) チャド「中央アフリカからの帰還民社会的再統合支援（EA10/15）」10,000ユーロ
 - (5) チリ「洪水災害緊急支援（EA11/15）」10,000 USドル

次回日程 2015年7月16日（木）10:00-15:00 日本カトリック会館

■第3回カリタスジャパン委員会会議

日時 2015年6月5日（金）11:00-13:45

場所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 8人

報告

1. 啓発部会報告 会報5月号参照
2. 援助部会報告 会報5月号参照
3. 事務局報告
 - (1) 事務局会議 会報6月号参照
 - (2) 四旬節黙想会を実施した。
 - (3) 2015年四旬節グッズ（小冊子、ポスターなど）が完成し、発送した。
 - (4) ネパール地震への募金は約55百万円集まっている。復興活動への支援に活用する。
4. 東日本大震災対応

2020年度までの資金計画と2015年度活動予算について報告された。

5. 第20回国際カリタス総会（5月12日－17日、バチカン）に参加した。
今後4年間の戦略的枠組みがまとめられた。新総裁としてフィリピンのタグレ枢機卿が選出された。

審 議

1. 2014年度決算が承認された。
2. 今年12月まで継続することとなった反貧困キャンペーンへの取り組みについて意見交換を行った。

次回日程 2015年11月4日（水）15:00－17:00 日本カトリック会館

■なんみんフォーラム（FRJ）2015年度総会

日 時 2015年6月18日（木）14:00－16:30
場 所 社会福祉法人さぼうと21（東京・品川区）
出席者 カリタスジャパンより1人

報 告

1. 2014年度活動報告
2. 2014年度決算報告
3. 収容代替措置プロジェクトについて
4. 理事および監事の選任について

審 議

1. 2014年度活動報告の承認
2. 2014年度決算報告の承認
3. 2015年度活動計画、事業予算の承認

■第2回援助審査会会議

日 時 2015年6月22日（月）13:00－14:50
場 所 日本カトリック会館 会議室4
出席者 6人

審 議

1. 一般援助案件の審査
計13件（海外）を審査し、6件を次回援助部会へ付託、7件を却下とした。
2. 国際カリタス緊急支援要請(Emergency Appeal/EA) 以下2件の支援を決定した。
(1)チャド「ナイジェリア危機による難民緊急支援（EA13/15）」10,000ユーロ
(2)ニジェール「ポコ・ハラムの暴動による避難民と受け入れコミュニティの食糧危機緊急支援（EA14/15）」10,000ユーロ

次回日程 2015年8月11日（火）13:00－15:00 日本カトリック会館

外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会（外キ協）

■事務局会議

日 時 2015年5月14日（木）18:00-20:30
場 所 日本キリスト教会館（東京・新宿区）
出席者 カトリックから2人

報 告

1. 外キ協共同代表者会（5月8日）
1月の全国協議会・全国集会報告、全国協議会で決定した2015年活動計画の確認、2014年決算報告および2015年予算検討を行った。
2. 外国人被災者支援プロジェクト
「EIWAN（福島移住女性支援ネットワーク）2014年報告書」を来週「EIWANニュース」と共に発送する。毎月のプログラム予定などをまとめたメールマガジン（毎月11日発行）を始めた。
3. 11月の第3回「マイノリティ問題と宣教」国際会議の準備状況について
4. 外キ協事務局の一時移転
日本キリスト教会館の耐震工事に伴い、在日本韓国YMCA3階に一時移転する（2016年2月までの予定）。

審 議

1. パワーポイント「外国人住民基本法」は、事務局の移転後に作業を再開する。
2. 「出入国管理及び難民認定法」（入管法）2015年改悪案に対して
 - (1)改定入管法について
 - ①多言語版「改定入管法サバイバル・リーフレット」を難民移住移動者委員会が作成した。これを利用して、当事者への情報提供・注意喚起と合わせ、相談を受ける日本人側の理解も深める。
 - ②入管法改悪案が3月に上程された。6月以降に法務委員会で審議入りされる見通しのため、移住労働者と連帯する全国ネットワーク（移住連）と共に国会議員に対する働きかけを来週開始する。
 - (2)改悪案への対応
 - ①日弁連、難民支援協会、移住連が反対意見書・批判文・質問主意書（案）を出している。
 - ②入管法3年後の見直しを求めるネット署名を、日本語と主要10言語で6月の一か月間実施する。
 - ③6月4日（木）に「真っ当な移民政策を求める院内集会」（主催移住連、共催難民移住移動者委員会ほか）を参議院議員会館で開催する。入管法に加え、今国会に上程されている「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律案（技能実習生法案）」、「国家戦略特別区域及び構造改革特別区域法（特区法）」改定案の問題点を挙げ、抗議の声を伝える。
 - ④6月の移住連全国フォーラムの分科会「完全施行を迎えた改定入管法に対するこれからの取り組み」で、改定入管法アンケート調査報告（難民移住移動者委員会）、改定案批判（移住連・入管法対策会議）、その他マイナンバー制度と外国人住民について紙上報告を行う。
 - ⑤6月27日（土）に法政大学市ヶ谷キャンパスで、公開研究セミナー「在留管理と共生ー“偽装”移民政策を問う」（主催移住連、山田泉研究室）を開催する。
3. 人種差別撤廃基本法
 - (1)日本のヘイトスピーチに対して昨年、国連自由権規約委員会および人種差別撤廃委員会から立法を含めた勧告が出されている。外国人権法連絡会弁護士が中心になって基本法の市民法案を作成し活動してきたが、国会内でも「人種差別撤廃基本法を求める議員連盟」が結成され、各政党内でもプロジェクトチームが作られた。5月中に同議連の所属議員が法案を提出し、今国会で議員立法として成立をめざす。

(2)6月26日(金)に参議院議員会館で「今こそ人種差別撤廃基本法を」をテーマに院内集会を開催する。
主催は外国人入国法連絡会、移住連、人種差別撤廃NGOネットワーク、ヘイトスピーチとレイシズムを乗り越える国際ネットワーク。賛同団体は難民移住移動者委員会ほか多数。

4. 2016年1月の第30回全国協議会・全国集会

第30回目は関東開催となる。会場候補および開催目的について協議した。次回の事務局会議でプログラム案を決定する。

5. 年間活動日程の確認

■事務局会議

日時 2015年6月18日(木) 18:00-20:00

場所 在日本韓国YMCA(東京・千代田区)

出席者 カトリックから2人

報告

1. 6月4日の「真つ当な移民政策を求める院内集会」に100人以上の参加があった。法案の審議入りは今後となる。
2. 6月13日-14日の移住連全国フォーラムに約500人が参加。第3分科会「入管法」には35人が参加した。
3. 外国人被災者支援プロジェクト「EIWAN2014年報告書」を発送した。
4. 11月の「マイノリティ問題と宣教」国際会議の準備状況について共催・後援団体が決まりつつある。

審議

1. 第30回全国協議会(2016年1月28日-29日)・全国集会(2016年1月30日)
外キ協30年の歩み、そして入管法やヘイトスピーチなど今の私たちの課題の共有をテーマとして、プログラム案やスピーカー候補について検討した。全国協議会・全国集会、各々の会場候補について正式申し込みの準備を進める。
2. ネット署名
6月末締め切りで入管法の問題をアピールする。紙ベースでも署名を集める。
3. 院内集会「今こそ人種差別撤廃基本法の実現を」(6月26日)
日本が人種差別撤廃条約に加入してから今年で20年を迎える。「人種等を理由とする差別の撤廃のための施策の推進に関する法律(案)」が、議員立法によって日本で初めて参議院に提出された。
4. パワーポイント「外国人住民基本法」「反ヘイトスピーチ」
全国キャンペーンで活用する資料作成にあたって、内容について意見交換をした。
5. 会計中間報告

中央協議会事務局

■総務

8月会議予定

11日(火)

カリタスジャパン援助審査会

日本カトリック会館

新刊書籍案内

- ※ 「キリストの神秘を祝う — 典礼暦年の霊性と信心」 日本カトリック典礼委員会・編
- ※ 「新しい『ローマ・ミサ典礼書の総則』に基づく変更箇所」 日本カトリック司教協議会
- ※ 「YOUCAT — 堅信の秘跡」 YOUCAT Foundation・編
- ※ 「核技術と教会の教え — 核発電についての韓国カトリック教会の省察」
韓国カトリック司教協議会
- ※ 「イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔 — いつくしみの特別聖年公布の大勅書」
教皇フランシスコ
- ※ 「ユスト高山右近 ～その生涯と霊性～」 日本カトリック司教協議会列聖推進委員会・監修

カトリック中央協議会 「会報」 2015年8月号 (通巻527号)

発行日 2015年7月20日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <http://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457